

宝の花✳プロジェクト

～宝江に笑顔の花✳を咲かせよう～

第3次 宝江地域づくり計画



宝江コミュニティ運営協議会
宝江地域づくり計画策定委員会

目 次

1. はじめに

宝江コミュニティ運営協議会 会長

2. 事業計画策定に取り組んで

宝の花❀プロジェクト リーダー

3. 地域づくり計画策定の目的

4. 宝江地域カルテ

① 地域内の個別状況

② 人口・世帯推移

③ 世帯数推移

5. 地域づくり計画策定に係る活動経過

6. 第3次 宝江地域づくり計画実行一覧

7. 宝江地域づくり計画策定委員

8. 宝江地区洪水ハザードマップ

9. これまでの活動の様子

1. はじめに

宝江コミュニティ運営協議会 会長 武内 正人

宝江コミュニティ運営協議会では、平成26年度「地域づくり計画」として、地域アンケート結果をもとに「宝の花を咲かせよう！」をテーマに計画を実行してまいりました。5年後の第2次計画では、宝の花❀プロジェクトを立ち上げ、「宝江に笑顔の花❀を咲かせよう」をテーマに、各分野で取り組み精査・検討し活動をしてまいりました。

今回の第3次計画は、これまで取り組んできたことを踏まえ、今後5年後にどんな地域にしていきたいかを、各世代からご意見やご要望をいただき、若い世代を中心に話し合いを重ねてきました。話し合いの結果、安全に安心して、住みやすい魅力ある地域づくりを継続し進めていくこととなりました。

今後も、「宝江に笑顔の花❀を咲かせよう」を軸により良い地域活動になるよう取り組んでまいります。引き続き、ご理解とご協力の程よろしくお願いいたします。

今回、アドバイザーとしてご指導いただいた、とめ市民活動プラザの佐藤マネージャーに厚く御礼を申し上げます。

結びに、ご協力いただきました地域の皆様、策定にご尽力いただいた委員の皆さんに心から感謝申し上げます。

2. 事業計画策定に取り組んで

宝の花❀プロジェクト リーダー 佐々木 和人

この度、宝江地区の第3次事業計画の策定に伴い、第1次、第2次と過去10年間の活動を振り返りつつ、第3次の計画を立てる事になり、たくさんの方のご意見をいただき感謝しております。

何もかもが手探りで始めた第1次計画、やっと軌道に乗り出した頃に新型コロナウイルスによる猛威で事業が実施できなかった第2次計画期間。

これまでの10年間で、たどり着いた答えが、宝江地区の宝は「人」と考えます。

少子高齢化の問題は、一部を除いて日本全国ほとんどの自治体でも課題に挙げられています。子どもたちが安心して、この宝江地区を誇りに思い、定住してくれるようなコミュニティが築かれるようお願い、取り組みたいと思います。

全世代に満足のいく地域づくりは大変難しいかと思いますが、少しでも地域の方々の笑顔を増やせる活動を心がけてまいります。

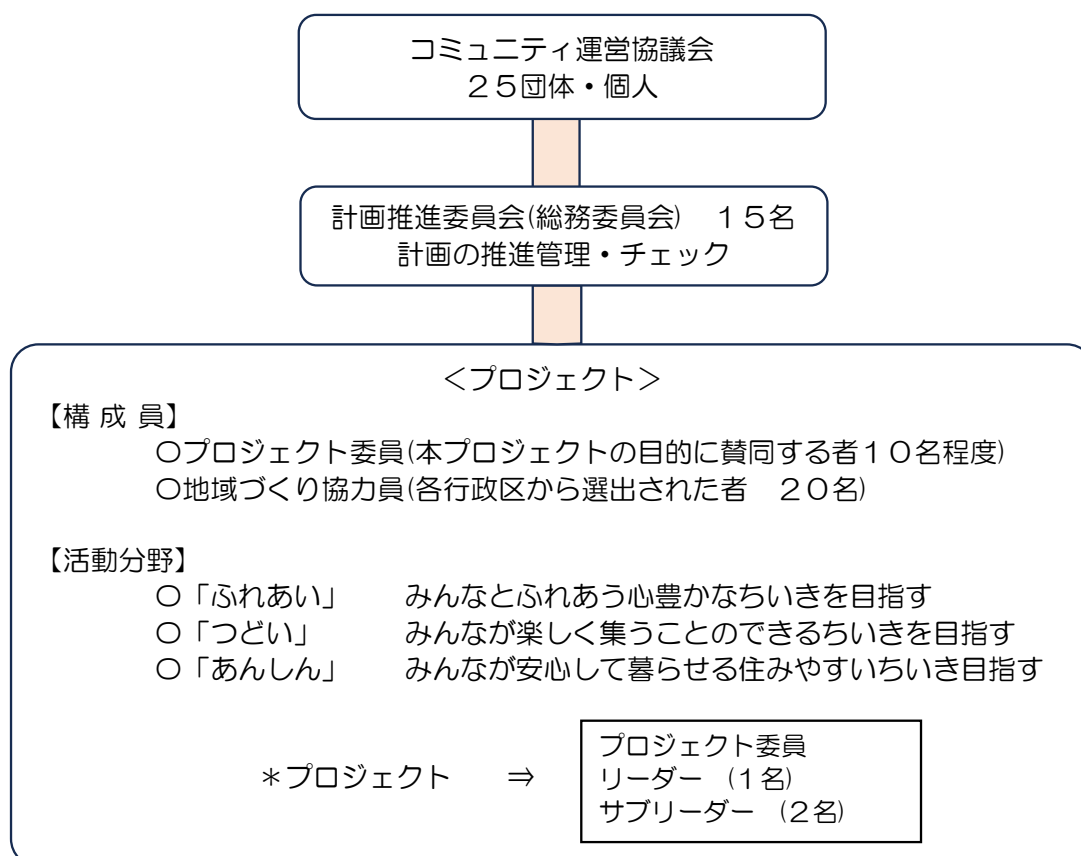
3. 地域づくり計画策定の目的

平成24年4月に施行された「登米市まちづくり条例」は、市民が主体のまちづくりを推進するため市民の権利と市民・市・議会の役割を明確にしながら、住みよい地域社会の実現を図ることを目的にしています。

合併以前の中田町では、早くから他町域に先駆けて住民主体のコミュニティの形成が図られており、昭和56年7月には「宝江コミュニティ運営協議会」が設立されました。さらに、合併年となる平成17年3月には当運営協議会が「宝江ふれあいセンター」の指定管理者となり自主管理・運営を行い、生涯学習活動や地域活動の拠点としての役割を担ってきました。

協議会設立後43年、ふれあいセンターの指定管理者となり20年が経過し、社会環境も宝江地域も大きく変化しました。地域への行政サービスの縮小低下が久しい昨今、安全に安心して過ごせる暮らしを守るため、住民主導のまちづくりが求められており、多くの分野に即した事業の創造が必要となっています。それには、住民自らが計画づくりの段階から参加し、多くの意見や要望を集めた、連携機関を含め調整協議を重ねることが重要となり、「宝江」ならではの特色ある希望に満ちた夢のある楽しい事業の展開につなげることを目的とします。

宝の花プロジェクト推進体制イメージ



4. 宝江地域カルテ

○ 地域概要

宝江地区は、登米市のほぼ中央部に位置し、田園風景が広がる緑豊かな穀倉地帯となっています。地域の産業は農業が中心であり、水稻・施設野菜・花き・畜産が盛んな地域となっており、中央部には、製造業を営む企業も立地しています。また、三陸道と連結するみやぎ県北高速幹線道路が整備され交通環境が整いつつあります。

宝江地区は、10行政区からなり、一部を除き、いずれの行政区も少子高齢化の傾向にあります。令和6年1月現在、人口2,721人・世帯数は971世帯となっています。

地 域 名	登米市中田町宝江地区（昭和31年時点18.8km ² ）
位 置 図	
地域マップ	
運営組織	団体名：宝江コミュニティ運営協議会 事務局：登米市中田町宝江黒沼字浦38番地3 宝江ふれあいセンター内 TEL：0220-34-2143 メールアドレス：takarae@ec5.technowave.ne.jp Instagram：https://www.instagram.com/takarahure1/
地域構成	行政区数：10 （蓬原、十文字、東、町、館、神畑、森六荒谷、柴六、並柳、下道）
地域の歴史	明治8年10月 水沢懸による村落統合に伴い、新井田村と黒沼村が合併して田沼村となる。 明治22年4月 町村制施行に伴い、田沼村と森村が合併して宝江村となる。 昭和31年4月 石森町、宝江村、上沼村、浅水村が合併して中田町となる。 昭和32年4月 宝江公民館設立 昭和56年7月 宝江コミュニティ運営協議会設立 平成元年1月 宝江ふれあいセンター（本館）竣工 平成13年3月 公民館機能の見直し（自主運営化） 平成16年 宝江ふれあいセンター 一部改装 平成17年1月 宝江ふれあいセンター 多目的ホール 竣工 平成17年4月 9町合併して登米市となる。 令和6年4月 指定管理者5度目の更新 （令和6年4月1日～令和11年3月31日）

① 地域内の個別状況

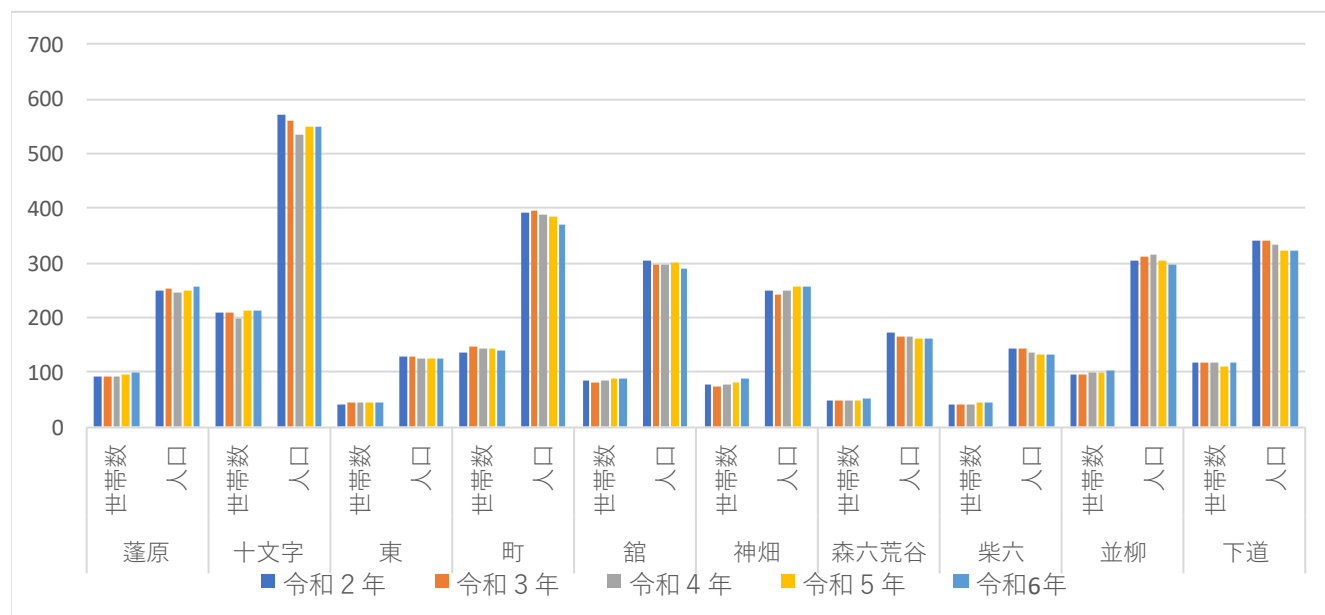
	項 目	現 状	特 徴 (良いところ)	課 題 (困っていること)
1	地域の特徴	<ul style="list-style-type: none"> 登米市の中央に位置し、平坦で、稲作、畑作、畜産などの農業が盛んな地域である。 	<ul style="list-style-type: none"> 平坦な地域柄で災害も少ない。 多種多様な農産物ここに有りの生産に力を入れている。 	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少に歯止めがかからない状況である。
2	主な施設	<ul style="list-style-type: none"> 中田総合体育館（トライデントなかだアリーナ） 中田体育センター 中田B＆G海洋センター 中田球場（トライデントボールパーク） 中田中学校 宝江小学校 中田幼稚園 宝江郵便局 佐沼警察署中田交番 	<ul style="list-style-type: none"> 生活に必要な施設が整備されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 建物の老朽化が進み、修繕が必要な個所が増えてきている。
3	地域内の自治施設	<ul style="list-style-type: none"> 行政区集会所 行政区ポンプ倉庫 	<ul style="list-style-type: none"> 各行政区に集会施設が整備されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 施設・設備の更新維持管理に支障を来している。
4	指定緊急避難所 指定避難所 安全対策	<ul style="list-style-type: none"> 中田総合体育館（トライデントなかだアリーナ） 中田B＆G海洋センター 中田体育センター 中田球場（トライデントボールパーク） 中田中学校 宝江小学校 中田幼稚園 	<ul style="list-style-type: none"> 行政区ごとに自主防災用を設置している。 	<ul style="list-style-type: none"> 地震や洪水など自然災害に対する訓練が不十分である
5	連携している団体	<ul style="list-style-type: none"> 中田中学校 宝江小学校 中田幼稚園 行政区コミュニティ 宝江老人クラブ連合会 宝江郷土史愛好会 中田教育事務所 宝江小学校PTA 中田中学校PTA 交通安全協会 消防団中田支団 みやぎ北上商工会 	<ul style="list-style-type: none"> 協働できる分野や範囲が広まることより、地域の活性化につながる。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域企業事業者との連携が進んでいない。

	項 目	現 状	特 徴 (良いところ)	課 題 (困っていること)
6	地域環境	<ul style="list-style-type: none"> • 空き家が増加している。 • 一人暮らしの高齢者が多い。 • 少子化が進んでいる。 • 若者の地域参加が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> • 空き家バンクに情報提供している。 • コミュニティ内で声の掛け合いがある。 	<ul style="list-style-type: none"> • 空き家の樹木の放置で通行に支障がある。 • 倒壊の恐れや景観上、衛生上の問題がある。 • 高齢化によりコミュニティ組織の後継者が不足している。 • 少子化でイベントの参加者が減少している。
7	自然環境	<ul style="list-style-type: none"> • 風光明媚である。 • 広大な田園地帯である。 • 多種の鳥類がいる。 • 多くの小動物がみられる。 	<ul style="list-style-type: none"> • 広大な遠景を見渡せ癒される。 • 農業により自然と耕地環境が整備・保持されている。 	<ul style="list-style-type: none"> • 地域資源としてより一層の活用方法の検討が必要である。
8	地域交通	<ul style="list-style-type: none"> • 市民、住民バスの運行がある。 	<ul style="list-style-type: none"> • 市民、住民バスで対応できている。 	
9	歴史・文化	<ul style="list-style-type: none"> • 諏訪神社 • 赤城神社 • 新井田城本丸跡 • 館神楽～八幡舞～ • 本源寺 • 報恩寺 • 専福寺 • 新羅神社 	<ul style="list-style-type: none"> • 神社仏閣が多くあり、文化財や地域の歴史に触れることができる。 • 伝統芸能を地域と学校との連携で継承されている。 	<ul style="list-style-type: none"> • 仏閣を除いて維持管理が難しくなっている。 • 小学校の統合に向け伝統芸能継承が難しくなる。 • 伝統芸能の指導者が高齢化となり後継者不足となっている。
10	特産品 (名物・名産品)	<ul style="list-style-type: none"> • 米、野菜がある。 • 和牛 	<ul style="list-style-type: none"> • 地域で生産された農産物の地産地消の取組みをしている。 	<ul style="list-style-type: none"> • 地域の関係団体と連携したが、農産物の販路の拡大が難しい。 • 地域の食文化の継承が不十分である。

② 宝江地区行政区毎人口・世帯推移 (令和2年～令和6年3月末時点)

登米市役所調査値

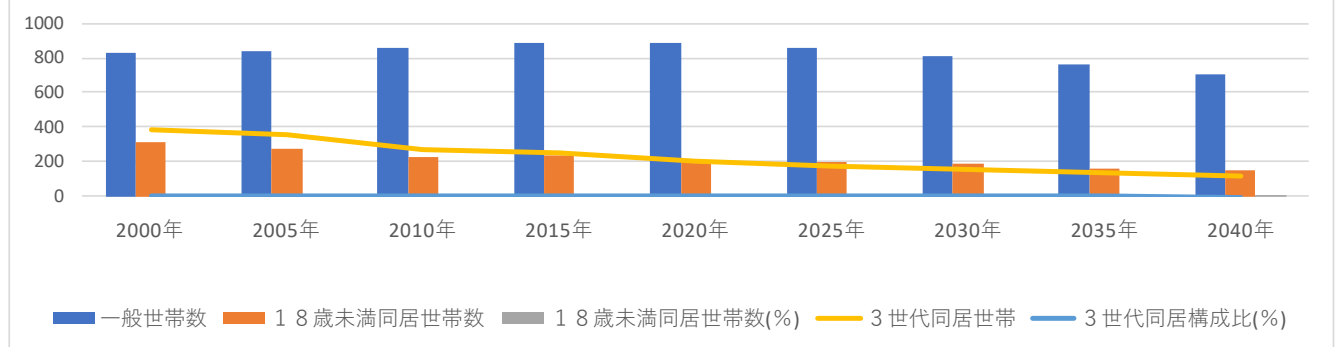
行政区		令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
蓬原	世帯数	93	93	94	96	99
	人口	248	252	245	249	255
十文字	世帯数	208	210	199	213	214
	人口	573	560	536	548	550
東	世帯数	42	43	43	43	43
	人口	128	127	124	125	124
町	世帯数	135	146	145	143	138
	人口	392	396	390	384	371
館	世帯数	84	83	85	89	88
	人口	306	297	297	300	289
神畑	世帯数	77	74	79	82	87
	人口	248	241	251	255	255
森六荒谷	世帯数	50	50	49	50	51
	人口	172	167	166	162	162
柴六	世帯数	42	42	42	43	43
	人口	144	142	136	132	134
並柳	世帯数	95	97	101	100	102
	人口	306	311	315	303	296
下道	世帯数	116	116	116	112	118
	人口	342	340	333	324	323
合計	世帯数	942	954	953	971	983
	人口	2859	2833	2793	2782	2759



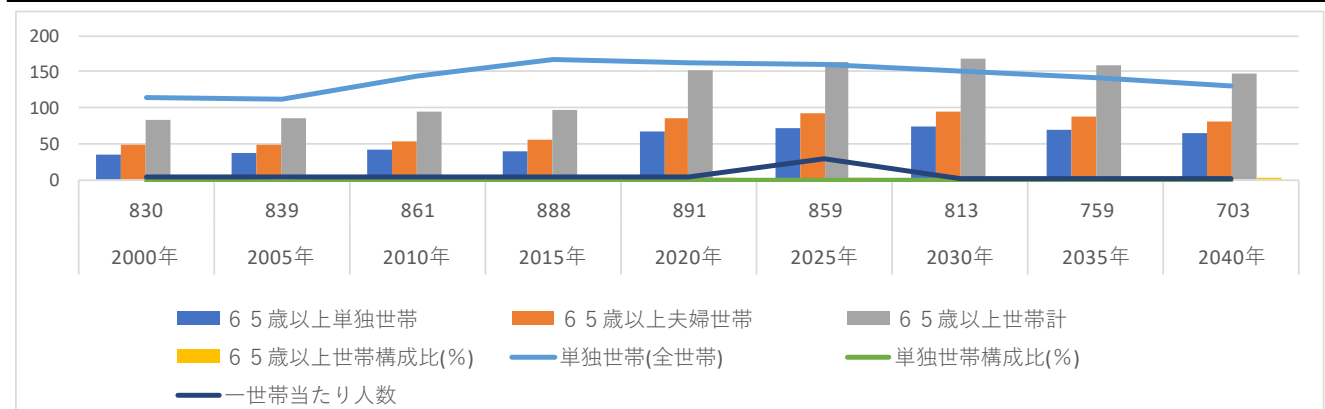
③ 宝江地区世帯数推移（2000年(平成12年)から2040年(令和22年)）

2020年(令和2年)までは国政調査値2025年(令和7年)以降は予測値

	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
一般世帯数	830	839	861	888	891	859	813	759	703
18歳未満同居世帯数	309	273	223	231	211	198	186	159	148
18歳未満同居世帯数(%)	37.2%	32.5%	25.9%	24.0%	23.7%	23.0%	22.9%	21.0%	21.0%
3世代同居世帯	384	355	269	253	202	176	151	133	118
3世代同居構成比(%)	46.3%	42.3%	31.2%	28.5%	22.7%	20.5%	18.5%	17.5%	16.7%



	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
一般世帯数	830	839	861	888	891	859	813	759	703
65歳以上単独世帯	36	37	41	40	67	72	75	70	65
65歳以上夫婦世帯	48	49	53	56	86	92	95	88	82
65歳以上世帯計	84	86	94	96	153	164	169	158	147
65歳以上世帯構成比(%)	10.1%	10.3%	10.9%	10.8%	17.2%	19.0%	20.8%	20.8%	21.0%
単独世帯(全世帯)	114	111	144	167	162	159	150	141	130
単独世帯構成比(%)	13.7%	13.2%	16.7%	18.8%	18.2%	18.5%	18.5%	18.6%	18.6%
一世帯当たり人数	3.92	3.75	3.47	3.24	3.11	30.3	2.97	2.94	2.91



2020年(令和2年)から1世帯当たりの同居人数の平均は、ほぼ一定であるが3世代同居世帯や18歳未満世帯同居世帯が減少していくと予測されている。また、65歳以上の夫婦世帯がピークを迎えつつあるが、10年後の大量減少の一途を辿る。さらに一般世帯数は、毎年50世帯ほど減少していき、人口減少と少子高齢化が加速すると予測される。

5. 地域づくり計画策定に係る活動経過

1. 策定活動経過(宝の花プロジェクト委員により活動)

実施年月日	実施内容	備 考
令和6年4月	第1回総務委員会において 今年度5ヶ年計画の地域づくり計画への取組みについて説明	10名
5月	総務部会において 宝江地域づくり計画第3次計画見直しに係る意見交換	12名
6月	第1回宝の花🌸プロジェクト会議において 今年度5ヶ年計画の地域づくり計画への取組みについて説明	13名
8月	中高生ボランティア地域リーダー研修会開催時において 地域についてワークショップ開催	16名
8月	第1回宝江地域づくり策定会議	12名
10月	第2回宝江地域づくり策定会議	7名
11月	第3回宝江地域づくり策定会議	6名
令和7年2月	第4回宝江地域づくり策定会議	10名

～ 地域づくり計画で各年代から 意見交換から～

総務委員会では

- ・後継者の担い手が少ない。
- ・環境整備で草刈りが大変。
- ・行事を行うにも若い人がでてこない。
- ・代替わりが遅く人の顔が分からない。
- ・家業(農家)の後継者減少。



中高生ボランティアでは

- ・みんなが明るく暮らしている。
- ・通学路に危険が多い(草木が邪魔をしている)。
- ・特に何も無いところが良いところ。
- ・災害に強く安全安心なところ。
- ・学校にもっとお金を出してほしい。
- ・教育がしっかりしている。
- ・気軽に集まることができる場所がある。
- ・グローバル化(外国人が増え対応できる人を育てる)

策定会議では

- ・災害が少ない。
- ・街灯がなく道が暗い。
- ・核家族が増えている。
- ・自主防災組織が機能していないため、研修会の開催を行ってはどうか。
- ・地域のお祭りが欲しい。
- ・危険箇所マップの作成。



6. 第3次 宝江地域づくり事業 計画実行一覧

第3次 宝江地域づくり計画 宝の花🌸プロジェクト ～宝江に笑顔の花🌸を咲かせよう～

ふれあい分野「みんなとふれあう心豊かなちいき」						
課題・要望	対策・行動	新規	継続	いつ頃		
				すぐに	1年後～	3年後～
結婚活動への支援	魅力ある女性・男性になれるようなイベントの開催		○			
館神楽の伝承	装束の着付け教室の開催		○			
	後継者の育成 NEW	○		○		
郷土料理の伝承	はっとづくり講習会の開催 NEW	○		○		
地域リーダーの育成	地域リーダー育成研修会の開催		○			
	意見交換会（ワークショップ）の開催		○			
居場所づくり	P T Aと連携し、勉強の場の提供 NEW	○		○		
	高齢者への娯楽の場の提供 NEW	○		○		
	子どもの遊びスペースの提供		○			
	まなぼうずの開催		○			
つどい分野「みんなが楽しく集うことのできるちいき」						
課題・要望	対策・行動	新規	継続	いつ頃		
				すぐに	1年後～	3年後～
世代間交流不足	夏祭りの開催 NEW	○				○
若者を引付ける活動	宝（T）カフェ～マルシェ～の開催		○			
	宝（T）カフェ～クリスマスパーティー～の開催		○			
子育て世代への支援	おさがりマルシェの開催		○			
ニュースポーツの推進	親子グラウンドゴルフ交流会の開催		○			
	室内グラウンドゴルフ交流会の開催		○			
地域情報の発信	ふれあいセンターだより・SNSを活用		○			
あんしん分野「みんなが安心して暮らせる住みやすいちいき」						
課題・要望	対策・行動	新規	継続	いつ頃		
				すぐに	1年後～	3年後～
ゴミのポイ捨て防止	クリーンキャンペーンの実施		○			
通学路の安全確保	危険箇所マップの作成 NEW	○				○
地域防災活動	防災マップの作成 NEW	○				○
	防災避難訓練・研修会の実施		○			
子どもの見守り	宝江子ども見守り隊であいさつ運動等実施		○			
特殊詐欺対策	SNS・ふれあいセンターだよりを活用して情報の発信		○			

第3次 宝江地域づくり計画 宝の花プロジェクト

※概要版

～宝江に笑顔の花を咲かせよう～

ふれあい分野「みんなとふれあう心豊かなちいき」

目標

- 結婚活動への支援
魅力ある女性と男性になれるようなイベントの開催を支援していこう。
- 館神楽の伝承
館神楽の歴史を伝え、保存会の存続と後継者づくりや育成を支援していこう。
- 郷土料理の伝承
はととづくり講習会をおして郷土料理を伝えていこう。
- 地域リーダーの育成
地域愛を養い地域リーダーの育成を目指そう。
- 居場所づくり
平日や休日の日中に子どもから高齢者まで集まりやすい空間づくりを増やそう。

つどい分野「みんなが楽しく集うことのできるちいき」

目標

- 若者を引き付ける活動
宝(T)カフェをおして、子どもたちが楽しく集まれるイベントを開催しよう。
- ニュースポーツの推進
運動不足を解消するために、子どもから高齢者まで集まって活発に過ごそう。
- 世代間交流
夏祭りの開催をおして、子どもから高齢者まで楽しく集える交流の場をつくろう。
- 子育て世代への支援
子供服のリユース(再利用)をおして、子育て世代を支援していこう。
- 地域情報の発信
ふれあいセンターだよりやSNSを活用し地域の情報を発信していこう。

あんしん分野「みんなが安心して暮らせる住みやすいちいき」

目標

- ゴミのポイ捨て防止
ゴミのポイ捨て防止啓発看板を設置し、美化活動を継続していこう。
- 通学路の安全確保
危険箇所マップを作成し、地域全体で情報共有し積極的にお知らせしていこう。
- 地域防災活動
災害時に備え防災マップを作成し、減災に役立て地域みんなで対策を考えよう。
- 子どもの見守り
子ども見守り隊ボランティアの活動(あいさつ運動)を継続し、地域の子どもたちを地域みんなで見守っていこう。
- 特殊詐欺対策
地域住民へ情報を発信していこう。

宝江コミュニティ運営協議会／宝江地域づくり計画策定委員会

総務省の「地方創生推進事業」に鑑み、宝江地区において2015年度から「地域づくり」が開始され10年が経過しました。このたび、5年後の2030年度までを見越しての「地域づくり」の見直しを図ることとなりました。

宝江地区では、下表のように2020年度と比較すると10年後の2030年度では、人口に10%強の減少と高齢化率が高まり、少子化の進行に拍車がかかると見込まれています。

「地域づくり策定委員会」では、アンケート結果を分析し、検討協議を重ねてきました。宝江地区の皆さんが、この地区の良さ、魅力を感じながら、安全に安心して住み続けられる地区社会を構築できるように応援します。さらに、地域と行政が協働し雇用創出や子育て支援等に取り組み、生活環境の向上と地域の発展の一助となるよう計画を策定しました。

※地方創生推進事業…東京一極集中を解消し、地方の人口減少に歯止めをかけるとともに、国全体の活力を上げようとする政策。全国一律ではなく、地域ごとの資源や特性を生かそうと全国1737市区町村で地方版総合戦略が策定された。地方での若者の雇用や農林水産物の輸出増といった自治体の取り組みには、交付金制度が設けられている。

宝江地区の人口推移

	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
人口計	2,873	2,766	2,589	2,405	2,221	2,040
0～19歳	406	398	372	347	294	272
20～39歳	563	450	382	305	291	284
40～64歳	995	904	819	785	764	691
65～79歳	551	660	729	666	503	422
80歳以上	358	354	287	302	369	371

7. 宝江地域づくり計画策定委員

宝の花❀プロジェクト委員

行 政 区	氏 名	備 考
十文字	及 川 由佳里	
十文字	熊 谷 寛 恵	
十文字	佐々木 真希子	サブリーダー
十文字	佐 藤 靖 子	
東	佐々木 和 人	リーダー
舘	千 葉 和 哉	
森六荒谷	遠 藤 隼 人	
並 柳 (神 畑)	鈴 木 和 也	サブリーダー
下 道	山 内 香奈子	
中田中PTA宝江学区	佐々木 千恵美	
中田中PTA宝江学区	佐 藤 由 香	
中田中PTA宝江学区	佐 藤 真由美	

[illegible]

9. これまでの活動の様子

令和2年度



令和3年度



令和4年度



令和5年度



令和6年度





宝の花✳プロジェクト

宝江コミュニティ運営協議会
(宝江ふれあいセンター内)

宮城県登米市中田町宝江黒沼字浦38-3
0220-34-2143 / takarae@ec5.technowave.ne.jp

発行：令和7年4月



Facebook



Instagram